



葉山のきがい

発行日 平成18年11月19日

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046 - 876 - 1111 編集 議会広報特別委員会



第3回(9月)定例会

| | |
|----------------------|-------|
| 平成17年度決算認定関連記事 | 2ページ |
| 委員会レポート | 10ページ |
| 一般質問(11人登壇)..... | 12ページ |



決算の審査風景

第3回
9月
定例会

平成17年度決算を認定

皆さんの税金 どう使われたか

総額

188億9683万円

第3回定例会は9月20日から10月19日まで30日間開催され、町長より平成17年度一般会計と国民健康保険・老人保健医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の決算の認定をはじめ、18年度一般会計及び4特別会計の補正予算、葉山町行政組織条例の一部を改正する条例など20議案が提出されました。また、町長行政報告や専決処分の承認、住民からの請願2件、陳情5件が提出されました。

決算に対する総括質問は7人、行政の問題点に対する一般質問は11人が行いました。

決算の認定については、決算特別委員会に付託され、慎重に審査して本会議に報告されました。4人の議員が反対、3人の議員が賛成の討論を行いました。すべて原案のとおり可決しました。

決算特別委員会

8人の議員による決算特別委員会を設置し、9月28日から10月4日まで、関係部課長などの出席を求め、説明を受けさらに資料の提出を求め細部にわたり審査を行いました。

平成17年度の予算がどのくらい目的に沿って執行されたか、運営の改善がなされたか、努力の効果が発揮されたか、環境や福祉の面でも向上しているかなど慎重にチェックしました。

平成17年度決算額

| | 歳入 | 歳出 | 歳入歳出差引額 |
|------------|------------------|------------------|----------------|
| 一般会計 | 102億8,978万3,176円 | 98億 575万6,430円 | 4億8,402万6,746円 |
| 国民健康保険特別会計 | 27億9,837万5,338円 | 26億7,608万 86円 | 1億2,229万5,252円 |
| 老人保健医療特別会計 | 26億1,755万7,994円 | 26億1,552万9,353円 | 202万8,641円 |
| 介護保険特別会計 | 17億4,790万7,963円 | 17億4,490万3,663円 | 300万4,300円 |
| 下水道事業特別会計 | 21億2,933万8,038円 | 20億5,455万6,084円 | 7,478万1,954円 |
| 合計 | 195億8,296万2,509円 | 188億9,682万5,616円 | 6億8,613万6,893円 |

決算特別委員会審査

どんな**成果**があったか

事業ごとに5日間にわたり審査しました(主な事業の抜粋)

障害者施設指定管理業務
推進事業 (497万5千円)

「葉山はばたき」に指
定管理制度を導入、管理
料の支払い等を行なった。
災害情報ラジオ給付事
業 (483万1千円)

災害発生時等の際の緊
急放送受信用ラジオを購
入配布した。

真名瀬漁港再整備事業
(1000万6千円)

同漁港の再整備を行う
ための業務を推進した。

うき・ウキーはやま推
進事業 (25万3千円)

海浜部での水難事故防
止等に努めた。

共同運営システム開発
事業 (437万5千円)

県内各市町村参加によ
る共同システムの構築等
を行った。

小学校耐震整備事業
(420万円)

上山口小学校校舎耐震
補強工事実施設計委託業
務を発注した。

終戦60周年事業
(14万2千円)

終戦60周年の節目の年に
シンポジウムを開催した。

企画調整事業
(264万6千円)

第三次総合計画中期基
本計画を策定した。

各種福祉団体等補助金
(3171万6千円)

特別養護老人ホーム施
設整備費を補助した。

次世代育成支援対策推
進事業 (88万1千円)

次世代育成支援行動計
画に基づく事業を実施し
た。

(仮称)保育園・教育総合
センター複合施設整備事業
(4億895万4千円)

同施設の建設に着手し
た。

緑化事業
(693万円)

緑の基本計画の見直し
を行った。

南郷上ノ山公園管理事
業 (3796万8千円)

野球場バックネット壁
防護マット取付並びにテ
ニスコートABC全面改
修工事を行った。

消防庁舎維持管理事業
(41万8千円)

携帯電話119番通報
直接受信整備工事を行っ
た。

小学校情報教育推進事
業 (55万7千円)

各教室用ディスプレイ
を借上げた。(4校70台)
学校経営・研究推進事
業 (728万6千円)

基礎学力向上等のため
町費教員(5名)を配置
した。
美術品収集保管及び展
示事業 (74万円)

図書館運営事業
(635万6千円)

空調自動制御機器修繕
工事・館内モニターカメ
ラ増設工事・屋上防水工
事を行った。

月岡榮貴画伯展を開催
した。

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その5)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その10)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その1)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その4)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その13)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その12)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その3)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その7)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その9)

葉山処理区(堀内) 枝
線築造工事(その9)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その12)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その7)

町長行政報告(1千万円以上5千万円未満の契約)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その6)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その2)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その2)

(仮称)保育園・教育
総合センター複合施設家
具設置工事
1782万9000円

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その13)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その12)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その3)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その7)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その9)

葉山処理区(堀内) 枝
線築造工事(その9)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その12)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その7)

葉山処理区(一色) 枝
線築造工事(その9)

葉山処理区(堀内) 枝
線築造工事(その9)



決算審議総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

9月26日・27日、17年度決算に対し総括質問を7人の議員が行ないました。

守屋 巨弘
(無所属)



問 町長は昨年1月の町長選の際のマニフェストで「バランスシートで町の資産を公開」と約束した。マニフェストは有権者との約束・契約というものである。いつそれを公開するのか。

町長 現在作成に取り組んでおり、公開にむけ準備中である。

問 昨年も同僚議員が16年度決算に係わるバランスシートの公開を求めたが、今現在準備作業中の答弁だった。16年度のものも公開したのか。

総務部長 作成準備をしたが、公開しなかった。

問 いつ17年度のそれを公開するのか、はっきりと約束すべき。

町長 12月ぐらいには公開できるだろう。

問 目標の経常収支比率の改善は全くできず、逆に悪化した。この原因はなにか。

町長 景気低迷に加え扶助費等福祉面の費用増による。

伊東 圭介
(尚政会)

問 第三次総合計画に基づいた施策や事業の推進と成果について伺う。

町長 福祉、教育、土木、都市計画、住民サービスなどの全分野にわたって行ったが、特に町民からの要望事項や行政側からの提案事項について議論していただく機関としてまちづくり町民会議を設置した。概ね良好かつ順調に推移した。

問 町長施政方針における重点施策の進捗について伺う。

町長 少子高齢社会に向けた施策の推進では新たな



新設の特別養護老人ホーム

な保育園建設の着手、小児医療費助成事業の拡大、特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設整備への助成等を実施した。

問 公共下水道の水洗化率と普及促進に向けた取り組みについて伺う。

町長 約223ヘクタール整備が完了し、約74%である。普及促進については、戸別訪問も積極的に行いたい。

金崎 ひさ
(新葉クラブ)

問 うき・ウキーはやま推進事業の評価と今後の課題について。

町長 80%のライフジャケット着用率となった。安全に遊んでいたかと同時に今後は海をもっと活用することを考えたい。

問 防災行政無線情報伝達補完事業の検証は。

消防長 ラジオ配布後には問い合わせ件数が60%減少した。

問 町費教員の配置は。教育長 今後も拡充を図りたい。

問 環境モニター増員の成果は。

町長 アンケートをとり参考にさせていただいた。

問 不法投棄防止用ステッカーの効果について。

福祉環境部長 不法投棄の通報が倍増した。

問 子育て支援に関する事業について。

町長 当事者との懇談を基に大きく前進させた。

問 審議会等の公開は。

町長 2月に指針を策定。



真名瀬漁港沖消波堤浚渫工事

森 勝美
(蒼生会)

問 一般会計歳入全体は2億3千万円余の減収。不能欠損額は千2百万円余の増である要因は。

町長 町債での減税補填債の借り換え分、ダイオキシン恒久対策事業債の一括償還のための補助金が無くなったため。不能

欠損は法人の倒産によるもの。
問 清掃費の増加要因は。
町長 し尿処理施設キユーピクル更新工事費、特A重油代の高騰による。

用額増加の要因は。
町長 下水道使用料が増加した。

の事情や経緯があり、また、役割分担の施設整備時期の調整も困難なことから2市1町で新たな協議会を立ち上げた。

阿部 勝雄 (日本共産党)
を指摘したが、町長は3本とは答弁してない。
都市経済部長 14年当時2本では賄えないと答弁した。

畑中由喜子 (いきいき葉山みんなの会)

問 公共下水道事業は規模の大きさから町の命運を賭けるといわれる。このままで町は大丈夫なのかとの声が高まっている。財政見通しは。
町長 17年度末で事業費は約383億円。19年度からの次期認可区域の事業費は約98億円を予定している。

問 現在、下水道最終処理槽は3分の1稼働か。
都市経済部長 3分の1が動いている。

問 13年度の審議会答申時に、日最大量1万9300m³の処理を1本6200m³の処理能力で割ると3本で間合つと質問した。部長は計算ではそうなるかと答えたが、町長は「予測数値」と従来計画をゆずらなかつた。

備協議会を解散し、なぜ選択肢を狭める新たな2市1町ごみ処理広域化協議会に移行したのか。
町長 連合の場合、自治体の事情や経緯があり難しい。施設整備時期に関する調整も困難で、連合協議会を解散し、2市1町ごみ処理広域化協議会を立ち上げた。

問 くれ竹の郷葉山推進事業のまちづくり活動団体の補助金の費用対効果の検証は。
町長 一口に数字で表すものではなく、町や町民の無形な重要財産と位置付けられる。

問 老朽化が進むし尿処理施設は地球温暖化防止の観点からも重油で燃しているのは問題がある。予算審査時に指摘があつたが、対策したのか。
町長 下水道への希釈投入も視野に他自治体の視察や調査を行った。

問 13年度の審議会答申時に、日最大量1万9300m³の処理を1本6200m³の処理能力で割ると3本で間合つと質問した。部長は計算ではそうなるかと答えたが、町長は「予測数値」と従来計画をゆずらなかつた。

問 新潟県津南町では住民とともに合併しないことを選択し、20年の財政計画を立てている。葉山も長期財政計画を立て、後世にどのような負担が残るのか展望しながら財政運営を図るべきでは。
町長 20年の計画など机上の空論5年位が良い。

町長 軽微な工事の地元業者への優先発注を検討。

問 国民健康保険料収入未済額増の要因と対策は。
町長 失業や収入の減少による影響。

問 ごみ処理広域化を2つのグループに分けて進めることになった経緯は。
町長 各自自治体それぞれ

問 13年度の審議会答申時に、日最大量1万9300m³の処理を1本6200m³の処理能力で割ると3本で間合つと質問した。部長は計算ではそうなるかと答えたが、町長は「予測数値」と従来計画をゆずらなかつた。

問 新潟県津南町では住民とともに合併しないことを選択し、20年の財政計画を立てている。葉山も長期財政計画を立て、後世にどのような負担が残るのか展望しながら財政運営を図るべきでは。
町長 20年の計画など机上の空論5年位が良い。

町長 軽微な工事の地元業者への優先発注を検討。

問 下水道事業決算、不
町長 各自自治体それぞれ

問 国民健康保険料収入未済額増の要因と対策は。
町長 失業や収入の減少による影響。

問 13年度の審議会答申時に、日最大量1万9300m³の処理を1本6200m³の処理能力で割ると3本で間合つと質問した。部長は計算ではそうなるかと答えたが、町長は「予測数値」と従来計画をゆずらなかつた。

問 新潟県津南町では住民とともに合併しないことを選択し、20年の財政計画を立てている。葉山も長期財政計画を立て、後世にどのような負担が残るのか展望しながら財政運営を図るべきでは。
町長 20年の計画など机上の空論5年位が良い。

町長 軽微な工事の地元業者への優先発注を検討。



クリーンセンター



し尿処理施設



下水道浄化センター



津南町役場において

近藤昇一 (日本共産党)

問 新潟県津南町では住民とともに合併しないことを選択し、20年の財政計画を立てている。葉山も長期財政計画を立て、後世にどのような負担が残るのか展望しながら財政運営を図るべきでは。
町長 20年の計画など机上の空論5年位が良い。

町長 軽微な工事の地元業者への優先発注を検討。

町長 軽微な工事の地元業者への優先発注を検討。

決算特別委員会の審査報告

9月28日から5日間に町長 引き続き促進の方
わたり、関係部課長の説
明及び資料の提出を求
め、細部に至るまで審査
を行いました。その後10
月11日に、町長に対し、
2項目質問し、特別委員
会の意思決定を行いました。

町長 引き続き促進の方
向で考えている。道路も
鉄道も、1本の場合は効
果が薄く、複数にしてい
くことによって、相乗効
果という視点から、4倍
にも6倍にもなるという
のが専門家の見解であ
る。

三浦半島の経済などの
面で必要な道路だ。
アクアラインは膨大
な負債を抱えて赤字を産
み続けている。東京湾口
道路はさらに赤字を産む
道路だ。

また、葉山町としてメ
リット、デメリットを検
討すべきではないか。
町長 湾口道路が実現し
た場合には、横横道路と
接続してくるわけで、葉
山町民にとって利便性と
いう意味で考えた場合、
メリットはあると考え
る。

町長 進める方向で考えた
ら、こういうメリットが
あるということ披瀝し
て、町民に知らせていく
必要があるのではないか。
町長 時期を見て、必要
に応じて対応していかな
ければならない。

町長 長者ヶ崎町有地の一
部が占拠されている問題
で法的な手段も辞さない
ところまでできていながら、
決算委員会の説明では



堀口大学文庫オープニング
テープカット

町長質問事項

1. 三浦半島地域東京湾
口道路建設促進協議
会負担金を支出して
いるが、町の方針は
湾口道路建設促進の
方向か。

2. 長者ヶ崎町有地問題
について、町道廃止
等により方針の変更
はあったのか。

町長 湾口道路が実現し
た場合には、横横道路と
接続してくるわけで、葉
山町民にとって利便性と
いう意味で考えた場合、
メリットはあると考え
る。

町長 進める方向で考えた
ら、こういうメリットが
あるということ披瀝し
て、町民に知らせていく
必要があるのではないか。
町長 時期を見て、必要
に応じて対応していかな
ければならない。

町長 長者ヶ崎町有地の一
部が占拠されている問題
で法的な手段も辞さない
ところまでできていながら、
決算委員会の説明では

町長 引き続き促進の方
向で考えている。道路も
鉄道も、1本の場合は効
果が薄く、複数にしてい
くことによって、相乗効
果という視点から、4倍
にも6倍にもなるという
のが専門家の見解であ
る。

三浦半島の経済などの
面で必要な道路だ。
アクアラインは膨大
な負債を抱えて赤字を産
み続けている。東京湾口
道路はさらに赤字を産む
道路だ。

また、葉山町としてメ
リット、デメリットを検
討すべきではないか。
町長 湾口道路が実現し
た場合には、横横道路と
接続してくるわけで、葉
山町民にとって利便性と
いう意味で考えた場合、
メリットはあると考え
る。

町長 進める方向で考えた
ら、こういうメリットが
あるということ披瀝し
て、町民に知らせていく
必要があるのではないか。
町長 時期を見て、必要
に応じて対応していかな
ければならない。

町長 長者ヶ崎町有地の一
部が占拠されている問題
で法的な手段も辞さない
ところまでできていながら、
決算委員会の説明では

生じているのは、県が道
路敷を駐車場に変更した
ために、接続道路がなく
なってしまうのが大き
な要因で、相手方と県と
で話し合いが持たれてい
ると聞いている。

町長 これらを町が考慮
し、時間的余裕をとるの
か、あるいは長年解決を
迫っている中で、法的手
段に訴えてでもどいても
らうのか確認したい。

町長 しばらくの間は推
移を見つめつつ、新たな
対応を考えたい。



葉山町文化祭企画のひとつ
『菊花展』

指摘

1. 予算書・決算書の記
述形式を統一すべき
だ。併せて、新規事
業を明記すべきだ

要望

1. 葉山町資料収集整理
事業で、収集した資
料の有効活用を要望
する

2. ミックスペーパーの
ステーション収集方
法について、職員収集
を含め検討すべきだ

3. 各小学校トイレ清掃
に、児童・教職員も
参加させるべきだ

平成17年度の決算審議結果

討論

加藤 清
待寺 真司
鈴木 道子

賛成

反対

畑中由喜子
阿部 勝雄
森 勝美
守屋 亘弘

一般会計

- 町税が当初予算より増収になったのは景気がわずかながら回復したのと、職員が徴収率の向上に力を注いだ結果と推察される。
- 景観法を踏まえた研究、緑の基本計画策定は評価できる。
- 町費による教員配置できめ細やかな学習指導が望める。
- 葉山町まちづくり町民会議の設置は町民の熱心なまちづくりの議論が頻繁に開催され嬉しく感じる。
- 保育園・教育総合センター複合施設建設はこどもの育ちを大切にす町のシンボルとして、その活用が望まれる。
- 小児医療費助成の対象年齢を就学前から7歳未満までに拡大され、少子化の充実が図られた。
- 団塊世代の地域での活躍の場を創出するきっかけとなるまちづくり参画セミナーが開催された。

下水道事業特別会計

- 下山川流域を主とした一色地区の面整備に着手し、着実に進んでいる。

その他特別会計

- 特別会計は予算を適切かつ的確に執行した。

一般会計

- 例年決算書の誤字が多い。町長の監督監理能力を疑う。
- 葉山町観光協会は長年にわたり納税をせず、町長は適正に課税すべき職務を怠った。
- 経常収支比率が一層悪化している。
- 保育園・教育総合センター複合施設整備事業で交付金7,700万円は交付されず、整備費の財源内訳は補正後さらに大幅変更した。財政計画に基づく予算執行とはいえない。
- 緑の基本計画書は完成する前に支払いが行われていた。
- し尿焼却処理施設は地球温暖化対策上問題がありながら、いまだに方向性が定まらず、重油を使用している。
- ごみ処理広域化は計画の段階から住民参加とすべきだ。
- 教師用指導書購入では予算執行上、処分者まで出す事務手続きの誤りがあった。

国民健康保険特別会計

- 一般会計からの繰入金は保険料金抑制に使い、一般会計に戻すべきではない。

下水道事業特別会計

- 繰入金イコール事業費では特別会計の態をなさない。
- 公共下水道とコミプラの比較は実態にあった数字を使って計算し直すべき。

決算審議に要した日数

6日間
賛成多数

各会計別決算の結果

- 一般会計.....賛成多数
- 国民健康保険特別会計.....賛成多数
- 老人保健医療特別会計.....全員賛成
- 介護保険特別会計.....全員賛成
- 下水道事業特別会計.....賛成多数

認定



こんなことが決まりました



葉山町税条例の一部を改正する条例

地方税等の一部を改正する法律が本年3月末公布され、段階的に施行されることに伴い、本町でも所要の改正を行う必要があります。課税所得金額の区別によって3段階に分かれている個人住民税所得割の税率を100分の6に統一するものです。

近藤昇一議員の反対討論、佐野司郎議員の賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部を改正する法律等が公布、本年10月1日から施行されること等に伴い、保険給付に関する事項等につき改正する必要があるため、関係規定を整備するものです。

阿部勝雄議員の反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

葉山町行政組織条例の一部を改正する条例

全会一致で可決しました。
(11ページの総務建設常任委員会レポート参照)

葉山町消防団条例等の一部を改正する条例

関係規定を整備するもので、全会一致で可決しました。

葉山町議会の議員・その他非常勤の職員の公務災害補償

等に関する条例及び葉山町職員公務災害等見舞金条例の一部を改正する条例

関係規定を整備するもので、全会一致で可決しました。

葉山町真名瀬漁港管理条例の一部を改正する条例

真名瀬漁港管理条例の施行日前から占用していた漁船以外の船舶に係る同条例の適用につき、施行日以後5年間は適用しないとしたが、同漁港及びその周辺の状況を勘案し、この期間を3年延長するものです。

近藤昇一、畑中由喜子、守屋亘弘各議員の反対討論、待寺真司、鈴木道子、佐野司郎各議員の賛成討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

人権擁護委員会の推薦について

中村欣司氏を人権擁護委員として法務大臣へ推薦するためのもので、全会一致で可決しました。

工事請負契約の締結について(真名瀬漁港沖防波堤新設)

工事)

請負金額10億668万円で、鹿島建設(株)横浜支店と請負契約を結ぶもので、全会一致で可決しました。

教育委員会委員の任命について

現委員榎田禮嗣氏の任期が本年10月20日で満了となるため、新たに後任委員に鈴木伸久氏を任命するためのもので、同意しました。



第31回葉山ふるさとひろば
オープニングセレモニー



秋晴れの中、大勢の
来場者で賑わう

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

| 会計名 | 補正前の予算額 | 補正後の予算額 | |
|------|------------|------------|-----------|
| 一般会計 | 9,423,000 | 9,751,519 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 2,838,486 | 3,035,899 |
| | 老人医療保健 | 2,553,389 | 2,554,417 |
| | 介護保険 | 1,913,738 | 1,933,337 |
| | 下水道事業 | 1,741,517 | 1,756,298 |
| | 小計 | 9,047,130 | 9,279,951 |
| 合計 | 18,470,130 | 19,031,470 | |

平成18年度補正予算

(は減額)

一般会計 (補正予算額 3億2,852万円)

| 歳入 主なもの | 単位：千円 |
|----------------------|---------|
| ・合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 | 695 |
| ・小児医療費助成事業補助金 | 800 |
| ・国民健康保険特別会計繰入金 | 30,000 |
| ・繰越金(前年度剰余金) | 283,095 |
| ・雑入(真名瀬臨時駐車場観光協会協力金) | 1,034 |
| <歳出> 主なもの | |
| ・小児医療助成事業 | 22,974 |
| ・污水处理施設維持管理事業 | 5,250 |
| ・基金積立金 | 310,000 |
| ・国民健康保険特別会計繰出金 | 20,000 |
| ・下水道事業特別会計繰出金 | 50,000 |

国民健康保険特別会計 (補正予算額 1億9,741万円)

| | |
|--------------|---------|
| <歳入> | |
| ・国庫負担金の増額分 | 1,233 |
| ・一般会計繰入金 | 20,000 |
| ・繰越金(前年度剰余金) | 107,295 |
| <歳出> | |
| ・繰出金 | 30,000 |

介護保険特別会計 (補正予算額 1億9,599万円)

| | |
|-------------|--------|
| <歳入> | |
| ・国庫負担金 | 42,659 |
| ・県負担金 | 47,436 |
| <歳出> | |
| ・高額介護サービス等費 | 14,700 |
| ・償還金及び還付加算金 | 3,895 |

下水道事業特別会計 (補正予算額 1,478万円)

| | |
|--------------|--------|
| <歳入> | |
| ・一般会計繰入金 | 50,000 |
| ・繰越金(前年度剰余金) | 64,781 |

補正予算質疑

神奈川県後期高齢者医療広域連立準備委員会分担金(14万2千円)に関し、当該広域連立とはなにか。福祉環境部長 健康保険法の改正に伴い、75歳以上の後期高齢者を対象に新保険制度が平成20年4月から誕生するが、法に基づきその事業主体として神奈川県下全市町村で広域連立を結成することになっている。これに係わる規約案等の作成のため、すでに設立準備委員会を設置、その費用を各市町村ごとに負担する必要があり、今回一般会計補正予算に計上した。本町は設立準備委員会に加入しているのか。福祉環境部長 同委員会の幹事となっている。



みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



- 次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願.....採 択
- 重度障害者医療費助成制度および、ひとり親・小児医療費助成制度の維持と充実をもとめる陳情..... 趣旨了承
- 健康を守る医療・保健制度の確立を求めることに関する陳情..... 趣旨了承
- 国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択と葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情書... ..採 択
- 葉山町私立幼稚園の就園奨励費に関する陳情書.....採 択

なお継続して審査します

葉山町議会の改革を推進するための陳情

子育て支援課の設置、小児科の誘致、堀内児童遊園にトイレ設置を願う陳情書

安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員の意見書提出を求める陳情

葉山町観光協会長の「納税していない」発言に関する請願書

中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています。

教育福祉

「次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願」

請願の要旨は、政府が公務員の総人件費改革実行計画の中で教職員の人件費削減を求めていること、また、今年度から義務教育費国庫負担制度は、政府与党合意によって国の

負担が2分の1から3分の1に変更されました。そこで、全国的な教育水準の確保や地方財政を圧迫させないために、国負担を2分の1に還元することを求めているものです。

審査の中で、義務教育費は国の負担で行うべきものであり義務教育費国庫負担金が減らされることは、財政事情による教育費の地域間格差が生じ、子どもたちの教育環境、ひいては義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼしかねないなどの意見がありました。

審査の結果、全会一致により採択し、意見書を提出すべきと決しました。

「重度障害者医療費助成制度および、ひとり親・小児医療費助成制度の維持と充実を求める陳情」
陳情の要旨は、神奈川県が重度障害者、ひとり

親及び小児の医療費助成制度見直し検討会を設置し、一部負担金の徴収に加え、重度障害者には所得や年齢の制限を新たに導入しようとしていることは、制度発足の趣旨に反し、障害者及び子どもを抱えた家計への負担増となり導入を認めることはできず、また、障害者・患者の実態や願いに答えて、障害者・患者が等しく安心して必要な医療を受け続けられるよう、医療費制度の拡充を求めているものです。

審査の中で、陳情項目の中には、当町で既に実施しているものもあるが、陳情の趣旨には賛同できるとの意見がありました。

審査の結果、全会一致により、趣旨了承すべきと決しました。

「健康を守る医療・保健制度の確立を求める陳情」
陳情の要旨は、国会で

は12本の医療「改革」関連法が成立し、今後、患者負担の導入や医療保険の県単位再編に向けた動きが活発となります。しかし安全、安心、納得の医療とは程遠く、健診事業の廃止や加重な患者負担の導入が検討されています。また、療養病床の23万床廃止をはじめ、小児科・産婦人科などの医師不足の解決策も示されず、医療費削減のみが明確な改革となっていない。

審査の中で、陳情項目が多岐にわたる内容であり、医療制度は中身が複雑でむずかしい問題があるとの意見がありました。

審査の結果、全会一致により趣旨了承すべきと決しました。

「国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択と葉山町の私学助

成制度拡充を求める陳情書」
陳情の要旨は、神奈川県では、園児、児童、生徒一人当たりの私学助成金の額が全国最低レベルで、高校への初年度納付金額の公私格差は7倍にも達しています。憲法、教育基本法等の理念に基づいて、公立・私立を問わず小・中・高での少人数級が図られ、教育費と教職員を増やすと同時に、経済的理由により私学への進学などあきらめる子どもが出ないように私学助成制度を更に拡充するよう国と県に対し意見書の提出を求め、また、

審査の中で、国が三位一体の改革を進める中で、様々な私学助成制度の環境条件が厳しく、保護者への経済的負担も増大している現状を鑑み、この趣旨には賛同できるとの意見がありました。

審査の中で、国が三位一体の改革を進める中で、様々な私学助成制度の環境条件が厳しく、保護者への経済的負担も増大している現状を鑑み、この趣旨には賛同できるとの意見がありました。

審査の中で、国が三位一体の改革を進める中で、様々な私学助成制度の環境条件が厳しく、保護者への経済的負担も増大している現状を鑑み、この趣旨には賛同できるとの意見がありました。

た。なお、葉山町へ私学助成制度等の拡充を求め、次の3点を強く要望いたしました。
1、本町における幼稚園就園奨励補助金・幼稚園就園助成金・幼稚園運営補助金の拡充を図ること。



町立図書館に開館した堀口大学文庫内部

総務建設

「葉山町行政組織条例の一部を改正する条例」

2、私立学校生徒への就学補助制度の新設を図ること。
3、本町における奨学金制度の充実を図ること。
また、葉山町高校奨学金制度の給付基準の緩和を検討してもらいたいとの意見もありました。

この条例は「地方分権の推進・多様化する住民ニーズ等への対応」と「町民に分かりやすい行政組織の再構築」を図るため提案されたもので、その主な内容は、町長の権限に属する事務を分掌する現行の3部1室を4部制とするものです。

審査の結果、全会一致により、採択し、意見書提出すべきと決しました。

「葉山町私立幼稚園の就園奨励費に関する陳情」

陳情の要旨は、町内の私立幼稚園に在園する保護者の教育費は年々増加の傾向にあり、負担軽減のため就園奨励費の増額を求めているものです。

審査の中で、同趣旨の陳情を採択したので、この陳情も採択すべきとの意見がありました。

審査の結果、全会一致により採択すべきと決しました。

委員長 金崎ひさ

「葉山町行政組織条例の一部を改正する条例」

議会休会中の10月6日、担当部長等の出席を求め、審査を行いました。

この条例は「地方分権の推進・多様化する住民ニーズ等への対応」と「町民に分かりやすい行政組織の再構築」を図るため提案されたもので、その主な内容は、町長の権限に属する事務を分掌する現行の3部1室を4部制とするものです。

審査は、4部制へ移行後の各部課の事務分掌・職員数などについて質疑がなされ、担当者からは、移行に伴う職員数の増加は考えておらず、従来からの定員適正化計画の範囲内で対応し、総業務量についても大きな変化はないとの回答がありました。委員からは次の意見がありました。

- 1、各部課間の業務量の均衡を図ることは評価できる。
- 2、水環境関係部門の統合及び性質の異なる、福祉部門と環境部門の分離は評価できる。
- 3、少子化対応の体制整備に伴う、こども育成課の新設は評価できる。
- 4、少人数系の統廃合、班制度の検討もされた。
- 5、広聴業務は広報と同課での対応が望ましい。
- 6、縦割りの業務体制ではなく、臨機応変に横断的な業務遂行に、より一層取り組みをされたい。

委員長 鈴木道子

以上様々な意見がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

委員長 伊東圭介

議会運営

7月5日、8月4日、9月5日、9月11日に議会改革をテーマにした委員会を開催しました。会派について、議会先例集の改定について、会派控室の整備工事と備品について協議しました。

9月15日、9月26日に平成18年第3回定例会の日程、議案、陳情等の取り扱いについて協議しました。会期は9月20日から10月20日までの31日間としました。

「葉山町議会の改革を推進するための陳情」については継続審査としました。

議員研修会開催

9月5日(火) 議会協

を問われていると述べられました。

また28次地政調における地方議会の議論の中で、特に先生が問題として指摘されたのが96条2項の議決権から法定受託事務を除くとされている括弧書きです。これを除かない限り議会にとつての分権改革は終わらないと述べられました。

今村先生は行政学がご専門で、第28次地方制度調査会で自治の問題を取り上げられ、全国町村議会議長会の「分権時代に「討論の広場」でなければならぬ」との趣旨が全文に貫かれているのは見事であると高い評価をされ、議会改革を進めていく際の参考となることとしていただきました。

北海道葉山町の議会基



議員研修会での様子



高野 稔

質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

森 勝美

コミュニティバスで交通不便地の解消を
町長 当町では無理との意見もあり更に検討が必要



問 第三次総合計画の中の平成18年から20年までの実施計画に載せているが、
福祉環境部長 実施計画に盛り込まれているので検討の必要がある。
問 逗子駅から三浦半島中央道を経て国際村への路線は実現したが、大山の導入は。
町長 経費・コース・料

問 町内の交通不便地に相乗りのジャンボタクシーによるデイマンド方式の導入は。
町長 経費・コース・料

問 コミュニティーバス運行は16年度を目途に検討されていた筈だが、

問 逗子駅から三浦半島中央道を経て国際村への

町長 可能性を検討したが、町にそぐわないとの有識者の意見があった。

入口辺りにバス設置は。

町長 経費・コース・料

台設置している。

問 食育は知育・得育・体育の基礎となるもの、学校教育での取り組みは、
教育長 保護者にも栄養指導、栄養教諭を目指し、栄養職員2名が研修中。



コミュニティバス

待寺 真司

市街地の緑被率増加に向けた具体策は
町長 既存制度の拡充や都市計画等の法制度を活用



問 子ども達の生活態度の変化や、SOSの発信に気付くための対策は。
教育長 教師と子ども達一人ひとりとの心のつながりが基本。また教員の
人権感覚を磨いたり、力
ウンセリングの知識や技
能の習得・向上を図る。
問 教育相談事業に対する予算が減っているが、
教育長 必要な人員の配置はお願ひしていく。
問 心の相談員やスクールカウンセラー派遣事業
市街地緑被率増加に

町長 既存の纏まりある緑地の保全、建築物敷地内の緑化推進を図る。また周囲の景観と調和する完成図が提示できれば。

問 皇室ゆかりの地として「高野稔」による市街地の緑化はどうか。
町長 葉山の地域に何が適しているのか、専門家を交え検討していきたい。

問 「昭和の日」が制定されるが、町としての対

町長 バランスシート・行政コスト計算書は総務省方式で作成し、12月には公表できると思う。

一人ひとりとの心のつながりが基本。また教員の

問 心の相談員やスクールカウンセラー派遣事業

市街地緑被率増加に

町長 皇室ゆかりの地として「高野稔」による市街地の緑化はどうか。

町長 バランスシート・行政コスト計算書は総務省方式で作成し、12月には公表できると思う。

畑中由喜子

国の「放課後子どもプラン」に即した対応は 教育長 関係者と話し合って今後の対応を図りたい



問 全ての公立小学校で学校施設を子どもの居場所とする「放課後子どもプラン」が決まったが、**教育長** 国は来年度136億円の予算計上をしているので関係者と話し合っている。今後の対応を図りたい。
問 子どもたちの悲惨な事故や事件が多発している期間の半分に達した。取

る。子どもの安全対策を。**教育長** 学校安全の手引きや文科省の危機管理マニュアルを元に安全管理、安全教育を推進している。
問 学校安全の手引きは現実には即した活用ができていない。修正すべきでは。
教育長 必要部分は見直しをかけて行きたい。
問 環境問題は地域を越

り組めないDランクの施策の問題点は。
福祉環境部長 102項目のうち21がD評価で非常に実現性が難しい項目だが、一歩でも前進するよう努力して行く考え方だ。
問 改正された緑の基本計画では市街地の緑化を重点施策の一つとし、景観計画との連携を図りながら、より質の高い緑の形成を図るため緑化の基準となる緑化ガイドライン（仮称）を作成するとしているが、どのように進めるのか。
福祉環境部長 ご指摘の通りポイントになる部分なので、計画期間内での着る限り早い時期に作成するよう努力して行く。
その他の質問 町の将来見通しと市町村合併について、高齢者福祉について

鈴木道子

子育て支援NPOへの補助は 町長 業務内容が補助対象に合致するかを見て判断する



問 子育てサポーターの現状について伺う。
町長 41名が誕生し、その内38名が登録している。
問 講座を継続していくべきだが、どうか。
福祉環境部長 継続する。
問 スキルアップの講座開設も必要だがどうか。
福祉環境部長 研究する。

問 活動は無償だが、対象に合致かで判断する。多く育ち、また長く続くには何らかの補助も必要と考えるがどうか。
福祉環境部長 課題だ。
問 ファミリーサポートの実施について伺う。
町長 一カ所設置予定だ。庁舎近辺で通信不通箇所がある。調査したか。
消防長 調査はしていない。
問 緊急時は通信網が不可だ。調査し対応を。
消防長 検討する。
問 文科省・厚労省から「放課後子どもプラン」

について予定を伺う。
教育長 県が市町村に事業の説明会を開催しているところだ。
問 子育ての一環として重要な点だ。原点に戻って対応を検討すべきだ。
教育長 十分に精査し、対応していく。



庁舎内のキッズコーナー

問 子育てサポーターの現状について伺う。
町長 41名が誕生し、その内38名が登録している。
問 講座を継続していくべきだが、どうか。
福祉環境部長 継続する。
問 スキルアップの講座開設も必要だがどうか。
福祉環境部長 研究する。

問 活動は無償だが、対象に合致かで判断する。多く育ち、また長く続くには何らかの補助も必要と考えるがどうか。
福祉環境部長 課題だ。
問 ファミリーサポートの実施について伺う。
町長 一カ所設置予定だ。庁舎近辺で通信不通箇所がある。調査したか。
消防長 調査はしていない。
問 緊急時は通信網が不可だ。調査し対応を。
消防長 検討する。
問 文科省・厚労省から「放課後子どもプラン」



子どもたちの安全は

守屋 亘弘

葉山町観光協会の納税問題について

町長 一団体の事項ゆえ答弁は差し控える



を回りながら適正に対応している」と答弁した。この答弁は何を意味するのか。

問 私は去る6月20日、葉山町観光協会の活動状況並びに事業実績等についてとして、同協会の収益事業に係わる収支実績並びに納税実績に關し質問した。その際町長は「所轄の税務署とも調整

町長 独立した一団体の事項ゆえ、この場で議論するのはそぐわないので答弁を差し控えたい。

問 平成15年までは役場産業振興課職員が同協会事務局長あるいは事務局職員を兼ねていたのか。
町長 その通りである。



公共下水道処理場内部

問 町の規定に基づいた措置か。
総務部長 従来からの慣行に従ったものだ。

問 「所轄の税務署とも回りながら適正に対応」云々とはどういう意味

阿部 勝雄

下水道はコミプラの3倍、過大な計画だ

町長 急激な変更は出来ず、何割り増しかが一般的



問 コミプラの一人当たりの処理能力は。

福祉環境部長 浄化槽の原単位で200ℓ/人です。

問 下水道6千200m³の処理槽は日最大量で1万6千400人処理できるのか。

都市経済部長 そつです。
問 全計画で日最大量1

かはつきり答弁すべき。主税務申告制度を無視した上に納税も怠ってきたと認めている。逆に町長は同協会からの町民税の徴収を怠ったことになった。町長は平成5年初当選以来、同協会長を努めているのか。

私たちの住民監査請求により、県監査委員並びに町監査委員も同協会は長期間税制の根幹をなす自

万9千300m³、計画人口は3万2千200人では599ℓ/人。コミプラは200ℓ/人。下水道は3倍だ。
町長 公共下水道は、急に拡大することは困難で何割り増しかが一般的だ。

問 日平均量の447ℓ/人でも2倍以上。6千200m³は日最大量で1万350人分日平均量で1万3千870人しか処理してはいけな

となる。10年間の実績では1万6千400人分処理し



町営真名瀬駐車場

て来た。更に、今後の増設計画は同じ大きさで9千600人分の処理しか出来ずで、最後に3本必要としている。現在の6千200m³で1万6千400人処理しており、2倍で3万2千800人、処理区域計画人口は3万2千200人で、600人分余る。最後の1本は余裕率だけで6億かける計画は納得出来ない。

町長 まだ不明部分が沢山ある。目安がついた時点で何本かを考える。
問 実績を基に計画見直しが必要だ。また、上山口や木古庭の下水道計画を、コミプラなら3分の1の計画で済む。改めて比較検討すべきだ。
町長 机上の議論なら賛成だ。コミプラの近隣の方々が快くどうぞとなれば、コミプラ方式は有利だが現実には不可能で、一括処理となった経緯がある。

横山すみ子

幼稚園就園補助金の充実を

町長 子育て支援の一環として検討の余地がある



幼児は47名である。

保育士は新採用3名のうち2名は男性。あわせて8名の常勤と1名の非常勤、アルバイト職員で対応している。

問 お子さんや保護者の新園舎の評判はどうか。

問 町立保育園が10月2日から新しい園舎で運営されている。園児、保育士の状況について伺う。

町長 園児の定数はこれまでの60名から80名に増え、入所円滑化対策を適用し8名を加えた88名でスタートした。乳児41名、一時減った入所待機



国際村へ通じる街路樹

児数がまた増えている。仕事を待つ人にとつて0、1、2歳児の受け入れが重要なので、さらに充実してほしい。

町長 保育園の状況を見定めながら調整を行う。

佐野司郎

地区計画の土壌づくりは

町長 町内会の相互活用も一策



問 町長の合併に対する見通しを問う声が町民の中にあるが。

町長 葉山らしい雰囲気やこの町を存続させたいと思う町民が圧倒的ではないか。私の気持ちも一致している。しかし、さまざまな変革の中で厳し

問 子育て支援の一環として、幼稚園就園補助金をもっと充実してほしい。また、障害児を受け入れてくれる園への補助も拡大すべきである。

町長 幼稚園関係の補助金は4種類あるが、当町も少子高齢化しており、子育てのしやすい環境づくりのため、検討の余地があると思う。

問 景観計画、景観条例の制定までの進め方、町民参画についてのお考えを伺う。

町長 私権の制限に関わる部分もあり慎重に行いたい。まず計画素案についての意見を伺っていく。

い問題が生じ、大きな選択を強いられる時があるうかとも思うので的確な判断を心がけ、広い角度から広報をしていく。

問 目に見える形でまちづくりが求められていると思うが。

町長 目に見えるだけでなく、五感に心地よく響く景観を創ってゆく。景観計画はまちづくりの総仕上げであり、足りないものを補完するものと考え

問 各論になると理解を得られるか心配だが、住民の意向を伺いながら進める。きつと将来の葉山の魅力になる。

問 葉山らしさを評価指標にして結果を内外に示せないか。

町長 難しい事ではないかもしれない。職員ともども勉強してみる。

問 これからの課題は、寮や保養所のま

問 ことだと思ふ。

問 里山や住宅の緑の保全が個人の負担になっている面が多いが。

町長 広く町民に呼びかけて、皆で汗を流していくのが良い。

問 地区計画に取り組みやすくするには。



真新しい葉山保育園

町長 町内会組織等を利用して、日頃からの地域のまちづくりの話合いに行政も加わるのが良い。

近藤昇一

景観条例制定に町民会議の意見は

町長 町民会議は勿論、広く意見を聞く



問 景観計画・条例制定に町民会議の意見は。

町長 町民会議は勿論、広く町民から意見を聞く。

問 今回の素案について、様々な部分でまちづくりの後退が危惧される。

町長 これから、大いに意見をいただく。望者登録制度は、一定金額以下の小規模工事を地元の小規模工事等契約希望者に直接発注すること



葉山の景観を守るためには

問 高齢者住宅改修事業は3年経過するが、地域経済の活性化の面から、利用者の減少など制度の限界を示している。この際、リフォーム助成制度も併設すべきと考えるが。

町長 重要な課題と考え、引き続き検討したい。

問 小規模工事等契約希望者登録制度は、一定金額以下の小規模工事を地元の小規模工事等契約希望者に直接発注すること

町長 重要な課題と考え、引き続き検討したい。

問 小規模工事等契約希望者登録制度は、一定金額以下の小規模工事を地元の小規模工事等契約希望者に直接発注すること

問 国土交通省通達で

町長 検討している。

伊東圭介

消防の広域化について伺う

町長 様々な角度から検討する



問 消防組織法の改正に伴う消防本部の広域化についての町長の見解は。

町長 町民の生命・財産に直接関係するので、問題が生じないことを前提として、広域の枠組みの問題等も含め近隣市との協力体制を考えていく。

問 今後のスケジュール

町長 横須賀市の駐輪場の利用に関しては、市内

「公共工事において、低価格調査制度を活用して入札価格調査制度対象工事が増加傾向にあり、下請業者へのしわ寄せが懸念される」としているが、葉山町でも一部その傾向がみられる。入札最低制限価格制度の導入などの対応が必要ではないか。

町長 2500万円以上で、金額は550万円。

総務部長 58社中2社の工事について低入札価格調査制度を活用している。今後は、入札制度改革の中で検討したい。

問 久々の大型公共工事の保育園・教育総合センター建設5億6962万円に参入できた地元業者は何社か。

町長 2500万円以上で、金額は550万円。

問 消防の広域化について伺う

町長 様々な角度から検討する

問 消防組織法の改正に伴う消防本部の広域化についての町長の見解は。

町長 町民の生命・財産に直接関係するので、問題が生じないことを前提として、広域の枠組みの問題等も含め近隣市との協力体制を考えていく。



京急汐入駅前の駐輪場

問 警察、町内会、わんパトロール等様々な団体で腕章をつけているのか。腕章を使用した犯罪も考えられるが。

町長 現在、腕章等を掌握し統括していないが、よい機会なので調査を試みたい。

金崎ひさ

心身障害者手当支給事業について 町長 精神障害者も支給対象に含める



問 心身障害者手当支給事業に精神障害者も含めるべきではないか。

町長 来年度予算編成に向けて検討していく。

問 湘南国際村の計画見直しにより住宅が倍増する可能性がある。交通網の整理として三浦半島中央道の池子までの延伸に対し町としての県への要請は。

町長 当初の約束であるので早急な実現をお願いしている。

問 現在283世帯で上小中学校に29人の児童を受け入れている。今後増員に備え横須賀市と補助などの話し合いは。
教育長 メリットも考慮



逗子駅近辺に観光案内所を

しながら、受け入れ人数の限界などを検討したい。

問 子育て支援の一環として就園援助事業を更に充実する必要がある。
町長 私立幼稚園児の保護者に対し、町外に通園しているも昨年から8000円に増額したが今後も対応を図っていく。

問 枠配分の弊害により今年度は幼稚園に対する補助が減額している。それにより保育料の増額につながる可能性があるの
町長 専門家と相談しているが来年度予算化し対応を煮詰めていきたい。

問 観光案内所の設置は。
町長 必要と感じている。できればJR逗子駅に欲しいと思っている。

行政視察団訪問

11月6日に大磯町議会だより編集委員の議員8名が来町され、11月9日には山梨県昭和町議会の広報編集特別委員の議員8名が来町されました。両町とも「議会だより」の編集について、非常に熱心で、活発な質問や意見交換が行なわれました。



大磯町議会



昭和町議会

議会交際費支出状況 (平成18年4月～9月)

平成18年度上半期の支出総額は317,515円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

| 種 別 | 件 数 | 金 額 |
|-------------|-----|----------|
| 慶 弔 費 | 6件 | 70,000円 |
| 会 費 | 2件 | 10,000円 |
| 賞 品 代 | 2件 | 7,940円 |
| 謝 礼 | 1件 | 10,200円 |
| 寸 志 (祝 金) | 19件 | 170,750円 |
| 賛 助 金 他 | 5件 | 48,625円 |
| 合 計 | 35件 | 317,515円 |

意見書を提出しました

義務教育費国庫負担制度の堅持と学校現場に必要な人材確保を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る制度として完全に定着しており、現行の教育制度の重要な根幹をなしている。しかしながら、政府与党合意によって、今年度から義務教育費国庫負担金については国負担が2分の1から3分の1に変更された。このことは各地方自治体の財政事情による教育費の地域間格差が生じ、子どもたちの教育環境、ひいては義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼしかねない。

よって政府は、義務教育費国庫負担制度について、国負担率を2分の1に復元することを求め、制度を堅持すること。また、学校現場に必要な教職員の人員・人材確保をより強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・
文部科学大臣

私学助成制度の充実を求める意見書

神奈川県では園児、児童、生徒1人当たりの私学助成金の額が全国でも低いレベルである。そのために、私学の学費は公立高校と比べると著しく高く、これは全国的にも例を見ないほどである。

また、保護者への経済的負担が増大し、子どもや保護者が私学で学びたいと思っても、経済的な理由で入学を断念、もしくは退学せざるを得ない状況を生み出している。

よって神奈川県は、次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 教育諸条件の整備に向けた私学助成制度の拡充と少人数学級の実現などを図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 神奈川県知事

私学助成制度の充実を求める意見書

わが国の教育は公立学校とともに私立学校が重要な役割を担っていることから、国においては私学に対する各種助成制度措置を講ずることにより、学費の公私間格差の是正を図ってきた。

しかし、現在国においては三位一体の構造改革を進める中で、私立高等学校等への助成金を一般財源化する方向が示されているが、国庫補助金の一般財源化は、公私間の学費格差の拡大と父母への経済的負担の増大につながりかねない。

よって政府は、次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 私立高等学校等への助成金の一般財源化に反対し、国庫補助金の増額を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・
文部科学大臣

重度障害者、ひとり親及び小児の医療費助成制度の維持と充実を求める意見書

現在、神奈川県は、市町村と構成する見直し検討会を設置し、重度障害者、ひとり親及び小児の医療費助成制度の見直し作業を行っている。

この検討会では、子育て支援の重要性や重度障害者の医療費の経済的負担に触れながらも、受診のたびに定額を払う一部負担金の導入や、重度障害者には所得や年齢の制限を新たに導入する方向でまとめようとしている。

重度障害者、ひとり親及び小児の医療費助成制度に一部負担金を導入することは、制度発足の趣旨に反し、障害者および子どもを抱えた家計への負担増となり、医療抑制や治療の中断が懸念されるなど社会保障制度とは相いれない制度となってしまう。

よって、神奈川県におかれては次の事項について特段の配慮をより強く要望する。

- 1 重度障害者医療費助成制度の維持とさらなる充実を図ること。
- 2 小児医療費助成制度の維持・発展を図ること。
- 3 ひとり親世帯の医療費助成制度については、一部負担金を導入しないこと。
- 4 市町村への助成を充実すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 神奈川県知事

総務建設常任委員会行政視察報告

1 視察日

平成18年7月18日(火)
～7月19日(水)

2 視察地及び視察目的

新潟県中魚沼郡津南町
・自律に向けたまちづくりについて
・町民との協働によるまちづくりについて
新潟県小千谷市
・新潟中越地震発生時の市及び職員の初動について

4 視察概要

選択しないことを決定しました。

実現するための組織として、集落単位、小学校単

視察初日の7月18日に訪れた津南町は、新潟県最南端に位置する人口約1万2千人の町です。国・県が推進している市町村合併への対応について、平成13年から議会・町が検討を始め、平成14年に全集落を対象に住民懇談会を開催した後、18歳以上の全町民を対象にアンケート調査を実施しました。その結果は回収率89・2%、9214人から回答を得、「合併したほうが良い・どちらかと言えば合併したほうがよい23・5%」「合併しないほうがよい・どちらかと言えば合併しないほうがよい57・0%」となりました。

町は自律推進室を設け専任職員3人を配置し「職員全員による担当事務事業の見直し」「20年先までの税財政シミュレーションの作成」「人事、給与、機構等の見直し」「分野別自律推進チームによる具体的な町づくりの検討・構築」を重点に、町民と職員による自律計画作りに着手し、平成17年3月策定しました。

計画は人口目標を第一に掲げ、農業を基幹産業と位置づけ、観光産業の育成と暮らしやすい町づくりを目指すもので、協働型社会を構築し計画を



大規模崩落現場対岸にて

「分野別自律推進チーム」による具体的な町づくりの検討・構築」を重点に、町民と職員による自律計画作りに着手し、平成17年3月策定しました。

翌7月19日は、平成16年10月に発生した新潟県中越地震の震源に近く、大きな被害を受けた小千谷市、川口町を訪問し、震災時の対応、その後の復興状況等について視察を行いました。

小千谷市では、発生から約45分後には市長以下駆けつけた約70人の職員により、災害対策本部が設置され、安全確認・町内の状況把握を行い、同時に自衛隊、警察等の協力を得、被災者の救助、ライフラインの復旧作業等が開始されました。

その後、市では単なる災害からの復旧のみでなく、さらに以前にも増してよりよい市にするため「まちづくり計画」として、「復興計画」を策定しました。これは、大災害時における行政の力の限界を痛感した経験を踏まえ、行政はもとより市民の英知とエネルギーを集結する計画となっています。

視察時、町並みには被害の痕跡はあまり見られませんが、担当の説明では農道・水路等農地関係の復旧が遅れており、耕作放棄農地などとともに、現在も問題になっているとのことでした。

・新潟中越地震発生後の対応策について
新潟県北魚沼郡川口町
・新潟中越地震発生時の対応について
・新潟中越地震発生後の対応策について

「合併は強制されるものでなく住民の主体的意思によって判断されるものである。」理念の基、議会とともに民意を尊重し平成15年1月16日合併を

次に訪れた川口町では、従来の防災対策は、豪雪・河川の氾濫等が中心で地震については殆ど想定しておらず、発生時には大きな混乱が生じたとのことでした。

両市町とも山間部に小集落が分散しており、震災でその多くが孤立しました。困難な地域情報収集には、町内会など地域組織が大きな役割を担い、ボランティア、自衛隊等、外部からの援助が迅速に行われたことが、発生直後の混乱を乗り越えるための大きな力となったとのことでした。

川口町では、従来の防災対策は、豪雪・河川の氾濫等が中心で地震については殆ど想定しておらず、発生時には大きな混乱が生じたとのことでした。

川口町で研修の様子

3 視察者

伊東圭介・待寺真司
佐野司郎・近藤昇一
畑中由喜子・鈴木道子
守屋巨弘・中村常光
(随員 行合正志)

これを踏まえ、町は「合併は強制されるものでなく住民の主体的意思によって判断されるものである。」理念の基、議会とともに民意を尊重し平成15年1月16日合併を

研修を終えて集合



研修を終えて集合

研修を終えて集合

研修を終えて集合



川口町で研修の様子

議会活動日誌

今回は、平成18年第2回定例会終了以降、第3回定例会終了までの活動報告をいたします。

| | | |
|--------|--------------------|---------------|
| 7月 | 3日 議会広報特別委員会 | 26日 議会運営委員会 |
| | 4日 議会広報特別委員会 | 27日 議会広報特別委員会 |
| | 5日 議会運営委員会 | 28日 議会広報特別委員会 |
| | 11日 議会広報特別委員会 | 29日 議会広報特別委員会 |
| 18～19日 | 総務建設常任委員会 | 10月 |
| | 会行政視察 | 2日 決算特別委員会 |
| 8月 | 4日 議会運営委員会 | 3日 決算特別委員会 |
| | 11日 議会運営委員会正副委員長研修 | 4日 決算特別委員会 |
| 30日 | 行政視察来町 | 5日 議員全員協議会 |
| | (香川県多度津町議会議員) | 6日 総務建設常任委員会 |
| 9月 | 5日 議会運営委員会 | 10日 教育福祉常任委員会 |
| | 議員研修会 | 11日 決算特別委員会 |
| | 11日 議会運営委員会 | 16日 決算特別委員会 |
| | 15日 議会運営委員会 | 17日 議会運営委員会 |
| | 20日 議会運営委員会 | 17日 議会運営委員会 |
| | 議員全員協議会 | 18日 議会運営委員会 |
| | 26日 議会運営委員会 | 19日 議会運営委員会 |

表紙説明

表紙の写真は10月1日に開館した、葉山保育園のホール(遊戯室)で元気に遊んでいる子ども達のワンシーンです。

この施設は1階が保育園、2階には教育委員会、3階にはたんぼば教室・ことば・きこえの教室・教育研究所が同居する、まさに安心して子育てのできる環境づくりに向け建設されました。

福祉と教育が緊密に連携し、葉山の子も達かのびのびと育つ施設として、今後は運営面で様々な取り組みが期待されます。子どもを大切にす葉山町を内外に知らしめる事業の推進を議会も望んでいます。



新委員の紹介

辞職された伊藤純子さんの後任に、畑中由喜子議員が議会広報特別委員会委員に指名されました。



9月議会が終わると、町でも運動会や文化祭など行事が目白押しである。その都度お天気が気



に掛かる。それにしても近頃、お天気の変わりよることは、また、同じ理由が吹き荒れたかと思うと翌日は汗ばむほどの真夏日。しばらくぶりの雨が思ふと豪雨となつて水を引き起こす。やはりこれは地球温暖化の影響か。集委員をお引き受けすることとなりました。残さずらしまつたら、平和な暮らしも豊かな暮らしもすべて無に帰すことなる。だから世界中がこぞつて環境問題に取り組みなければならぬ。議会だよりがきっかけとなつて、少しでも町の政も無視して北朝鮮が核実験を行った。これはすべの生命に対する冒険であり、決して許されるものではない。ただちに実

験を中止し、核を放棄する。また、同じ理由から、核保有国に対しては地球の上のすべての生命を守り共存を図るために核兵器の廃絶に向けた取り組みを強く求めたい。この10月から、辞職された議員に代わって、編集委員をお引き受けすることとなりました。残さずらしまつたら、平和な暮らしも豊かな暮らしもすべて無に帰すことなる。だから世界中がこぞつて環境問題に取り組みなければならぬ。議会だよりがきっかけとなつて、少しでも町の政も無視して北朝鮮が核実験を行った。これはすべの生命に対する冒険であり、決して許されるものではない。ただちに実

平成18年第4回定例会は

12月5日(火)からの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

10月31日記 畑中由喜子